

## 白鶴美術館 2022年春季展開催

本館：2022年3月5日（土）から6月5日（日）まで

新館：2022年4月23日（土）から6月5日（日）まで

陶磁器の名品を大公開！（重要文化財「白地黒掻落龍文梅瓶」等）、絨毯展示も4月23日から開催！

公益財団法人白鶴美術館（神戸市、1934年開館）では、3月5日（土）から2022年春季展覧会を開催します。当館は、中国陶磁器の所蔵館として世界的に知られています。今回は、「モノクローム」と「色絵」という色彩の対照性に着目して陶磁器等を展示し（出陳作品数54点）、漢時代から清時代までの奥深い中国陶磁史について紹介します。

また、4月23日（土）からは、絨毯専門の美術館である新館でも「メダリオンデザイン」と「総柄文様」の対照性に焦点を当てて、ペルシアの絨毯計22点を展示し、その幅広い文様世界について紹介します。

会期中には、講演会やワークショップなど、来館者が自由に参加できる各種イベントも開催します。

### 開催概要

展覧会名： 白鶴コレクション探訪

【本館】 「中国陶磁編」

【新館】 「ペルシア絨毯編」

■期間 本館：2022年3月5日（土）～6月5日（日）

新館：2022年4月23日（土）～6月5日（日）

■休館日 毎週月曜日 但し、3月21日（祝・月）は開館、3月22日（火）を休館

■開館時間 午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

■入館料 大人：800円 大学・高校生：500円 中・小学生：250円

（65歳以上は500円、大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引）

※3月5日（土）～4月22日（金）[新館休館のため、本館のみの入館料]

大人：600円 大学・高校生：400円 中・小学生：200円

（65歳以上は400円、大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引）

### 主な展示品



重要文化財 しろじくろかきおとしりゅうもんめいびん  
 中国・北宋時代 磁州窯  
 世界的に知られる逸品、  
 モノクローム作品の代表。



ごさいぶじんずゆうがいこ  
 五彩武人図有蓋壺  
 中国・明時代 景德鎮窯  
 精緻な色絵作品。



セムナーン ペルシア北部  
 20世紀初期  
 長さ3m超の迫力ある総柄文様絨毯。

## 【白鶴美術館とは】

「世界的価値のあるコレクションを私蔵するのではなく、ひとりでも多くの方の目に触れてほしい。」

白鶴美術館は、そんな願いを持った嘉納治兵衛（鶴翁・白鶴酒造7代）によって昭和9年（1934年）に開館されました。古美術品500点で出発した当館は現在、国宝2件（75点）、重要文化財22件（39点）を含む約1450点以上の作品を所蔵。戦争と空襲、大震災など幾多の苦難を乗り越えて、価値ある古美術品を現在に残しています。



1934年開館の美術館本館

## 展覧会に伴うイベント情報

### 講演会「磁州窯のやきもの」

日時：5月5日（祝・木） 午後2時～3時30分

講師：今井 敦 氏（東京国立博物館博物館情報課課長）

### 文化財特別講座「工芸品を守り伝えるー保存と公開とのはざまー」

日時：4月29日（祝・金） 午後2時～3時30分

講師：伊東 哲夫 氏（文化庁文化財第一課文化財調査官〈工芸品〉）

### 新館レクチャー「ペルシア絨毯の多様な文様について」

日時：4月23日（土） 午後2時～3時30分

講師：吉田 雄介 氏（せとうち観光専門職短期大学准教授）

### ワークショップ「クルツと反転！ 紙が要のミニ屏風」

日時：5月1日、8日、15日、22日、29日の各日曜日 午後1時～3時

指導員：甲南大学ワークショップ指導員

### アート・トーク「宋の陶磁器、明の陶磁器」

日時：6月5日（日） 午後2時～3時30分

講師：当館学芸員

### スライド解説「展示品の魅力」

日時：3月6日・20日（日）、5月14日・28日（土） 午後2時～3時

講師：当館学芸員

## アクセス

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1

- ・阪急御影駅から北東約1km（徒歩約15分）
- ・無料駐車場あり（大型バスも可）
- ・阪神御影駅、JR住吉駅から市バス38系統渦森台行「白鶴美術館前」

白鶴美術館 HP <https://www.hakutsuru-museum.org/museum/>

本件に関するお問い合わせ

学芸課：海原・田林

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1 Tel/Fax: 078-851-6001

